

地域おこし協力隊員になるまで



県内各地域で活躍する地域おこし協力隊員



舟形町地域おこし協力隊
地域行事の祭りに参加



大江町 野木桃子さん
地域の郷土料理を受け継ぐ



白鷹町 小野寺太樹さん
紅花生産活動を実施

協力隊

自身の才能・能力を活かした活動
理想とする暮らしや生きがい発見

地域

斬新な視点
(よそ者、わか者)
協力隊員の存在が地域に刺激を与える

行政

行政ではできなかった柔軟な地域おこし
住民の増加による地域の活性化

支援

総務省

地域、協力隊、行政の
さんぼう
三方よし

地域おこし協力隊は、地域、協力隊員、行政
にとって相互に強みを活かし、弱みを改善して
いける三方よしの仕組みである。

地域のメリットは、住民が魅力とも何とも思
わないものをよそ者が資源として見出し磨いて
くれること、隊員は地方の生活を経験しながら
自身の才能や能力を発揮できること、行政はな
かなか手が回らなかつた地域おこしを担う人材
を確保できることなどである。任期が終わった
としても、定住してくれば過疎化
解消の救世主になる可
能性も秘めている。

地域おこし協力隊のお問い合わせ 各市町村担当窓口



地域おこし 協力隊

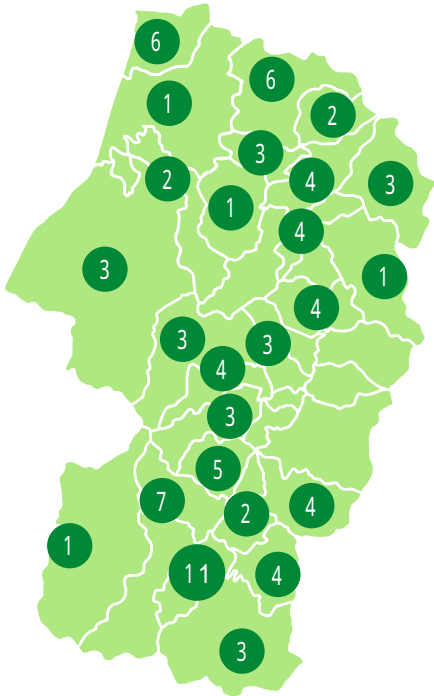
地域を元気に!!

「地域おこし協力隊員」として山形県内で90名の隊員が活動している。都会から過疎地域などの条件の不利な地域に移住する人を自治体が委嘱する制度で、隊員1名に対して国から最大3年間の支援がある。隊員を必要とする自治体が地域活動等の隊員に求める活動を示して募集をかけ、候補者とマッチング調整して選定される。

活動内容は、地域行事やイベントの応援、地場産品の開発やブランド化などの地域おこしへの支援、農作業の応援や住民の生活支援など多種多様である。

そこに住む住民だけでなく都会で育ってきた隊員の新たな視点を取り入れた地域おこしが期待されている。

そんな地域で挑戦している、意欲・やる気にあふれる地域おこし協力隊の隊員が活動している新たな地域の魅力を発見したい。



県内90名の地域おこし協力隊員の
市町村内訳（平成28年6月現在）